

市場関係者との情報交換、試食販売会を強化

■令和7年度は、市場関係者との情報交換や販売情勢の共有、女性部役員による試食販売会の強化、メディア出演も積極的に対応し「菊池水田ごぼう」のブランド力向上に繋げました。販売実績は、出荷数量1325t(前年対比131%)、販売金額7億9760万円(前年対比110%)でした。栽培面では、冬ゴボウは夏場の高温や少雨の影響があり、春ゴボウは初期生育は順調だったものの、1～2月の冷え込みにより心配しましたが、後半は肥大も進み、反当りの収量増加で取り戻すことができました。

■市場担当者との情報共有、初めての市場関係者を交えてのレクリエーションなどを行い、部会員と市場関係者との交流を深める機会も設けました。次年度も続けて、相対取引、規格外商品の販路拡大で、「菊池水田ごぼう」の魅力を発信していきます。



あいさつする上野部会長

新部会長に大矢野さん



あいさつする
大矢野
新部会長

総会には生産者50人が出席し、令和8年度事業計画、役員改選など3議案を可決承認。新部会長に大矢野健一さん、副部会長に川口晃範さん、松本雅光さんが就任。環境の変化に対応した栽培技術の構築、販売チャネルの拡大などで更なる品質向上と生産者の所得向上を目指します。



〈表彰〉

販売高表彰: 池田実、川上宗弘、川口晃範、桒原嘉博、村上農園、小林昭、城弘光、永田智久、松田義照、八並章一、上野洋一、オクダファーム、川上悦史、菊川賢一、ノムラファーム、後藤堅二、小林秀樹、立花富浩、西本順子、村上公治、大矢野由美子

高品質賞: 今村友則、有働敏徳、菊川賢一、廣田義隆

躍進賞: 永田りか

甘藷部会 第27回総会・令和7年産出荷反省会 R8.8.6

高品質甘藷にこだわり、地産地消も強化

■令和7年産は、例年同様サツマイモ基腐病や土壌病害対策として育苗ハウスの土壌消毒を徹底し、ウイルスフリーポット苗配布を実施。部会員が一丸となって品質の向上に努め、サツマイモ基腐病に対しては「持ち込まない、増やさない、残さない」を合言葉に、行政や関係者との連携で対策を継続しました。

■生育期の高温・干ばつにより肥大不足が懸念されましたが、生産者の管理の努力で市場引合いの強い2L・L・Mサイズ中心での収穫が出来ました。最後まで安定した品質を保つことができ、年間を通して好調な単価を維持したまま販売が終了しました。

■香港の輸出やJA熊本経済連を介した値決め相対取引、ふるさと納税返礼品への出荷など、さまざまな販売に取り組み、出荷量は1343t(前年対比92.8%)、販売高は3億6698万円(前年比90.2%)となりました。

■お歳暮時期におけるサツマイモの需要が高まっており、JA直売所での販売を強化。地産地消と農家手取り向上に努め、8年連続で部会員1戸当たりの平均販売高1000万円を突破することができました。引き続き、高品質な甘藷にこだわり栽培指導を丁寧に行います。また、取引先との情報交換を大切に、更なるPRと有利販売に努めます。



あいさつする大田黒部会長

〈表彰〉



品質・選別優秀賞
西本隆敏

坪堀品評会最優秀賞
古庄祐輔(高系14号)
内村俊治(紅はるか)